

(公社) 中野広域シルバー人材センターからのご案内

いろんなところでお役にたちます!



お気軽にご相談ください ☎ (23) 0468

他にもいろいろなお仕事をお引き受けしています。

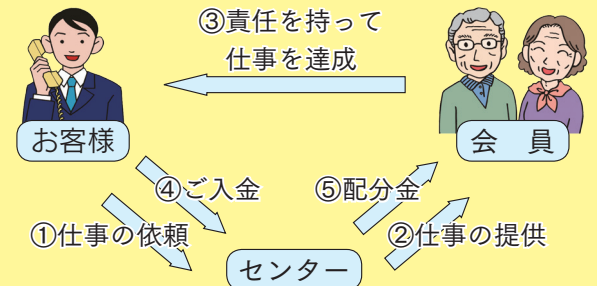
- 事務筆耕** 一般事務、宛名書き、賞状書き、式次第書き など
- サービス業務** ホテル、旅館業務、遺跡発掘、家事援助 など
- 専門技術** 経理事務、各種講師、冬囲い、襖・障子の張替えなど
- 軽作業** 機械草刈り、除雪、きのこ作業、植木の消毒 など
- 管理業務** 駐車場管理、施設管理、倉庫管理 など
- 諸業務** 催し物準備・片付け、チラシ配布 など

花苗・土人形・しめ縄の製作・販売もしております。

※料金は仕事の内容によって異なりますので、お気軽にお問合せください。

シルバー人材センターのしくみ

仕事の依頼から配分金の支払いまでは下記の流れです。



シルバー会員募集!!

あなたの豊富な経験・知識・技能をシルバー人材センターで生かしてみませんか!

シルバー人材センターでは、随時会員を募集しています。

中野市内にお住いの60歳以上の方で、健康で働く意欲があり、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。

就業や収入の保障はありませんが、自分に合った仕事をしていただき、その内容に応じた「配分金」を受け取ることができます。

毎月、第2火曜日午後1時30分から入会説明会を開催しています。ぜひご参加ください。なお、都合により日程が変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。



入会のお問い合わせ・仕事のお申し込みは…

公益社団法人 中野広域シルバー人材センター (三好町一丁目4番6号 中野市三好町庁舎内)

☎ (23) 0468 ファクス (23) 0041

金井敬幸さん
からのご紹介



○自己紹介

食品メーカーで牛乳などの配達の仕事をしています。菅平高原や北志賀、斑尾高原など広い範囲が管轄であり、ホテルや温泉施設にある自動販売機の補充を行っています。

乳製品を取り扱うため賞味期限が短く、日付の管理が難しいことと、施設ごと年齢層も違うので、必要な量を見極めて自動販売機に入れてくることが大変です。しかし、それを見極めて数量がピッタリだったときは、とても嬉しい気持ちになります。ドライブがとても好きで、昨年の春に買った新車が3万キロを走破しました。配達の仕事をしています。ドライブが好きなので、どれだけ走っても苦になりません。



▲自然の中、みんなで楽しむバーベキューは最高です！

○中野市のイメージについて

実家でブドウやリンゴを育てていることもあり、果物がとてもおいしいイメージがあります。

また、とてもきれいな公園が多く、その中でも「ふるさとの森文化公園」「ダイキャンプ場」はお気に入りの場所です。毎年夏になると何回も友人たちや家族とバーベキューを開催しています。身近に自然あふれる公園があることは、他にはない最高の環境だと思います。

○今後チャレンジしたいこと

私の会社では、自動販売機の事業は歴史が短く、まだスタッフは少ない状況ですが、もっと自分が頑張っ展させていきたいです。

池田市長の

わくわくレポート

vol. 4



市政1年を迎えるに当たって

市長就任以来、間もなく1年を迎える。この間、4回の市議会を経験し、さまざまな催事に参加し、市民の皆さまが躍動し、活気あふれる姿を体感できた。しかし、何よりも月日の流れの速いことに驚いている。事は急がねばならないと焦る気持ちが抑えきれないのも事実だが、中野市を元気にするために何をすることが明瞭になってきたことも確認できた。一方で、市政を展開するに当たっては、市民の皆さまの協力なしには政策の確かつ持続的な遂行はできないと改めて思いを深めている。明確な政策目標を立て、具体化するためにも、今後も継続的な、市民の皆さまとの意見交換の機会が必要と思っている。

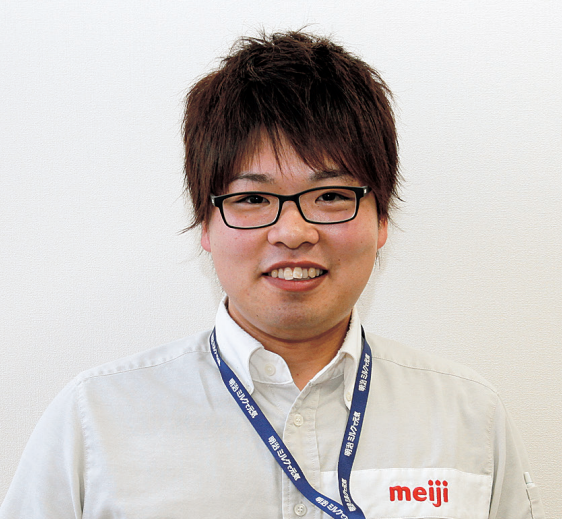
私も一人の人間であり、思い悩むこともあるが、今は、将来の中野市というただただ一点に向けて、ビジョンを描き、市民の皆さまと共有し、前進するのみと考えている。

人口減少が現実のものとなる中で、これからは「若

い世代が地域に根付き、就職し、子育てを行う。そうした循環が次世代へと引き継がれるための、若い人たちにあって魅力あるまちづくり」が必要であり、加えて、「これまで地域を支えてくれた高齢者の皆さんをはじめ、市民誰もが安心して暮らせるように、安全安心をどのように確保向上していくか」ということが市政の基本であると考えている。

元気な中野市を創るためには、市内の特産物（農産物およびその加工品、食品、工芸品など）や伝統芸能、グループ活動、交流活動など市民の皆さんの活動や成果に係る情報の共有がますます重要であり、そうした中で、交流、連携、協働によるまちづくりが可能だと思っている。

これからは来年度に向けて、私なりの政策をどんどん打ち出していきたい。今は行動開始に当たって、元経団連会長の土光敏夫さんの『計画』とは将来への意思である。将来への意思は、現在から飛躍し、無理があり、現実不可能にみえるものではなくてはならない。」を座右の言として、ただひたすらに進むことを考えている。市民の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。



わかばやし こうじ さん
若林 幸志 (会社員・古牧)

